



ならし社協だより

1月号

JANUARY 2025

令和7年1月1日発行
(第63号)

令和6年度
奈良市災害ボランティアセンター
設置運営訓練



目次(ページ)

- 02 新年のごあいさつ
啓発日や記念日を通じて、福祉に触れてみませんか?
- 03 防災とボランティアについて考える 私たちができること
- 04 特集 未来を紡ぐパラスポーツ
- 06 たついち・ほっこり食堂始めました!
- 07 子どもも大人も先生に! ~多世代交流、生まれています~
- 08 都祁福祉車両運行会が運ぶ笑顔と安心
賛助会員のご紹介

職員募集中!

奈良市社会福祉協議会では、地域の福祉を共に支えてくださる方を募集しています。詳しい情報は、こちらから!



新年のごあいさつ

社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会 会長 西谷 忠雄

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は年始から能登半島など各地で災害が続き、多くの方々が困難な状況に直面しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と、皆様が平穏な日々を取り戻されますことを心よりお祈りいたします。

本会においても、日ごろからの地域でのつながり・見守り・支え合い活動の推進とともに、被災地への職員派遣や災害ボランティアセンター設置・運営訓練等を通じて、災害に強いまち・ひとつづくりを進めてまいりますので、引き続きあたたかいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって少しでも明るく希望に満ちたものとなりますよう、また、共に支え合いながら力強く進んでいける年であることを願っております。

皆さまのご健康とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

啓発日や記念日を通じて、福祉に触れてみませんか？

今年1年の福祉に関する啓発日・記念日などをピックアップして紹介します。 ※本会調べ

1/15～21 防災とボランティア週間

1/17 防災とボランティアの日

災害時のボランティア活動や、自主的な防災活動をおこなう大切さを知るための日です。

3/1～31 自殺対策強化月間

法律によって毎年3月が自殺対策強化月間と定められています。さまざまな機関が連携し、自殺防止に向けた啓発活動を重点的におこないます。

4/2～8 発達障害啓発週間

4/2 世界自閉症啓発デー

世界自閉症啓発デーは、平成19年に国連総会で定められました。日本では、2日から8日までを啓発週間としています。自閉症のシンボルカラーは「希望」を意味するブルーです。

5/5～11 こどもまんなか児童福祉週間

すべての子どもが、地域や家庭の愛情に包まれて個性豊かに育ち、未来の担い手となるような社会づくりをめざすための週間です。この週間は、こども家庭庁によって定められました。

7/1～31 社会を明るくする運動

犯罪や非行のない健全な地域社会を築くことをめざす、全国的な運動です。過ちから立ち直ろうとする人々を支え、見守ることへの理解を深めます。

8/30～9/5 防災週間

さまざまな災害が発生しやすい日本において、災害を未然に防ぎ被害の軽減を図ることを目的に、国民が防災意識を高める週間です。

9/1～30 世界アルツハイマー月間

9/21 世界アルツハイマーデー

平成6年に国際アルツハイマー病協会と世界保健機関が共同で制定しました。認知症の原因として最も多いのがアルツハイマー病です。日本では、9月を「認知症月間」、そして21日を「認知症の日」としています。

9/15～21 老人週間

9/15 老人の日

全ての高齢者が安心して暮らせるようなまちづくりをめざして、高齢者の社会参加やボランティア活動の促進などの取り組みをおこないます。

9/23 手話言語の国際デー

平成29年に国連総会で決議されました。ろう者の権利が守られるように、世界各国で手話について啓発活動が進められています。この日は、世界ろう連盟が設立された日でもあります。

10/15 たすけあいの日

日常生活での助け合いや、ボランティア活動への積極的な参加を促進することをめざす日です。昭和40年に全国社会福祉協議会により制定されました。

11/4～17 福祉人材確保重点実施期間

11/11 介護の日

介護の日は、介護を受ける人やその家族、そして介護をする人たちを地域で支える日です。厚生労働省により定められました。福祉人材確保重点実施期間では、全国でさまざまな行事もおこなわれます。

12/3～9 障害者週間

12/3 国際障害者デー

「障害者に関する世界行動計画」が採択された12月3日を記念して、「国際障害者デー」が国連総会にて定められました。障がいのある人たちの生活を知り、助け合う気持ちを持ってもらえることを目的としています。

12/10 人権デー

昭和23年12月10日に国連総会で「世界人権宣言」が採択され、この日を記念し「人権デー」が定められました。世界人権宣言は、はじめて国際的に人権保障をうたった画期的なもので、この日は全国でさまざまな啓発活動が実施されます。

「記念日に合わせてなにかできないかな」

福祉に関する啓発日や記念日はまだまだたくさんあります。ぜひ調べてみてください。こうした日をきっかけに、そのテーマについて考え、周りの人と想いを共有してみましょう。

「一緒に調べてみようか」

「手話についてもっと知りたい！」

防災とボランティアについて考える 私たちができること

ボランティア元年から30年。語源は平成7年の阪神・淡路大震災が発生した際に全国から100万人を超えるボランティアが駆け付け、支援や復旧におけるボランティア活動の重要性が広く認識されたことに由来します。

本会では、平時からのつながりを大切に、災害ボランティアの輪を広げる活動を行っています。昨年度の入門セミナー受講者を中心に、今年度から災害ボランティア登録システムの運用をはじめ、メンバーそれぞれが積極的に関わってくださっています。9月7日には、登録メンバーが企画した災害ワークショップを実施しました。被災地を想定して水でアルファ米を調理・試食し、「時間が短いと少しかたいね」「塩があれば、まだ食べられるかな」という気付きや、実際に災害ボランティアに参加したメンバーの体験談などを共有しました。仮設住宅を巡ってお話を伺ったり、子どもと一緒にキャンプを通じて交流したり、ボランティアそれぞれができることを持ち寄ることで、被災された方の表情が和らぎ、心のケアにつながることがわかりました。



また、「災害ボランティアは気になるけど、私には難しいかも…」と思っているひとにも、できることはたくさんあります。阪神・淡路大震災では、救助された方のうち約8割が自助・共助によるものであったことから、日頃からの地域のつながりも防災のひとつとなります。地域活動への参加、近所の人との何気ない会話など、平時のつながりを日々大切にしたいですね。



お問い合わせ先 奈良市ボランティアセンター TEL 0742-26-2270

未来を紡ぐパラスポーツ

共生社会をめざして

障がいの有無に関係なくすべての人が楽しみ、つながることができる「パラスポーツ」。昨年8月から9月にかけてはパリパラリンピックも開催され、選手たちの活躍に勇気をもらいました。そこで今回は、同大会に出場された車いすバスケットボール女子日本代表の西村葵選手(奈良育英高等学校3年生)にお話を伺いました。

パリパラリンピックを終えて

パリパラリンピックに出場されて、いかがでしたか？

今回の大会を通して一番強く感じたのは、世界の強豪国との差がだいぶ縮まったということです。予選が終わった時点では、日本はぶっちぎりの8位(8チーム中)の状態だったんですけど、本選では、最終戦でスペインに1勝して結果7位。この1勝が一番の成果です！

本選出場枠が10チームから8チームに減ったにもかかわらず、16年ぶりの自力での出場となりましたね。

今まで強い相手に20点30点離されて負けてたのが、10点差ぐらいまで縮まって。最後のスペイン戦は、もう絶対に負けたくない!という気持ちでした。



車いすバスケットと出会って「いろんな人がいるから、ありのままの自分でも良い」と思えた

車いすバスケットをはじめたきっかけは？

はじめは、あんまり乗り気じゃなかったんです。病院に行くたびに作業療法士の先生に勧められたんですけど、当時は外にも出たくなくて。でも、車いすバスケットの試合の動画を観て、「めちゃくちゃカッコいい!」ってときめいて。それが出会いだったんです。

車いすバスケットと出会って、なにか変化はありましたか？

私は交通事故でこの体になったんですけど、学校にも行けず、ずっと引きこもって。そんな中、車いすバスケットを通じていろんな人と関わっていくうちに学校にも復帰できるようになり、すごく世界観が変わりました。うまく言えませんが、自分の障がいの後ろめたさみたいなものが、なくなったというか。いろんな障がいのある人と関わって「いろんな人がいるから、ありのままの自分でも良い」という気持ちになれました。



車いすバスケットを始めた当時と現在とでは、気持ちに変化はありますか？

海外の選手とも交流することによって、考え方や気持ちの持ち方がすごくポジティブになった気がします。

障がいのある人も、 もっと自分を出して 自由に過ごせるような社会へ

西村 葵 Aoi Nishimura

奈良県生駒市出身、奈良育英高等学校3年生。小学生のとき交通事故で車いすを使用するように。初出場となったパリパラリンピックをはじめ、車いすバスケットボール女子日本代表として活躍中。



本会の目標の一つとして、共生社会の実現をめざしていきたいということがあります。西村選手は共生社会を広めていくうえで、どういった影響を与えていきたいですか？

車いすバスケットの体験会をお手伝いさせていただく機会が何度もあり、「車いすバスケット楽しい、面白い!」と言ってくれる子どもがたくさんいて。その時は、障がいのある子どもだけの集まりだったんですけど。車いすバスケットは、障がいがない人でもできるスポーツというのを知らない人がたくさんいると思うので、いずれはそういったことも広めていけるように、講演会もして、いろいろな人が一緒に暮らしていることを知ってもらいたいです。

将来は指導者になりたいといった思いもありますか？

今は具体的には考えられていませんけど、将来的には、やっぱり魅力を広めていく側にはなりたいたかなと思っています。

西村選手の講演会を楽しみにしています。今までの経験を踏まえて、将来どのような社会になったらいいなと思いますか？

障がい者差別、というような言葉があるじゃないですか。海外遠征に行ったときに、海外では普通の人と障がい者との差がないように感じて。ありのままにいられるという感じで。日本でも、障がいのある人も外に出て、もっと自分を出して、自由に過ごせるようになっていけたらなと思います。

最後に、これから車いすバスケットを始められる方・気になっている方にメッセージをお願いします。

やっぱり続けることが大事だと思います。でも、スポーツはなんでも楽しむことが一番だと思うので、しんどいと思ったら一度やめても良い。楽しく続けてほしいなと思います。

西村選手の活躍と前向きな言葉は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。社会が変化することによって、ありのままの自分でいられる。そんな共生社会の実現に向けて、これからも一緒に歩んでいきましょう。

たついち・ほっこり食堂

始まりました!

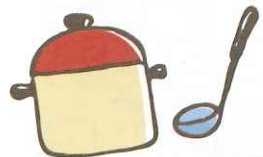
「子どもから高齢者まで、みんなでご飯を一緒に食べる場をつくりたい!」という思いから、令和6年8月より辰市地区の売間団地で“たついち・ほっこり食堂”が始まりました。食を通じた地域の新たなつながりづくりや、子どもも大人もみんなが“ほっこり”できる場をめざし、辰市地区社会福祉協議会を中心に地域一丸となって取り組んでいきます。

みんなで作り上げました!

なにをつくろうかな?集まってお昼を食べるなら、カレーライス!月に1回、第4土曜日はカレーを食べる日に。他の地域の地域食堂にも見学に行き、何度も試食を重ねてみんなで作り上げたこだわりの味です。



看板、チラシ、のぼりなど、ほっこり食堂では調理スタッフ以外にもたくさんの地域の方々が関わり、手作りで作成されています。のぼりの文字の下書きをしてくれた人、その文字を塗ってくれた人、そして生地を縫ってくれた人、チラシのデザインや看板を作ってくれた人など、それぞれ自分の得意を持ち寄りました!



辰市地区社会福祉協議会 土井会長より

食堂を立ち上げたきっかけは、眠そうに登校する子ども達や一人暮らしの高齢者と一緒に、何か元気になれることができないか、と思ったことからでした。スタッフも協力的で、皆で得意なことを持ち寄っています。

今後は食堂だけでなく、空き家を活用した地域での居場所づくりにも取り組んでいきたいです。



生活支援コーディネーターより

様々な立場の方が運営スタッフとして自然と集まられている様子がとても印象的でした。地区社協を中心に、普段の地域活動から住民同士が顔の見える関係を大切にされているのだと思います。その関係性を大切に、学生や専門職等も参画した地域づくりにむけて、ひきつづきパイプ役として活動に寄り添っていきたいです。



〈お問い合わせ先〉
各拠点の
生活支援コーディネーターまで

〈南部・東部エリア〉
南福祉センター
TEL 0742-62-3730

辰市ほっこり食堂
についてはこちら

〈中央エリア〉
ボランティアセンター・東福祉センター
TEL 0742-93-3294

生活を支える国の所得保障制度

障がい年金

・原則20～64歳が対象 ・一定要件あり
例) うつ病などの精神疾患、精神遅滞、発達障害
がん、難病、人工透析、人工関節、脳卒中、認知症
《無料相談受付中》 奈良市秋篠三和町1-9-7
090-8481-4867 あらき社 労士事務所

ヨシケイキッチン!
福祉施設様向け宅食メニュー
朝昼夕 3セットで
659円(税別) 円～
無料試食キャンペーン開催中!!
まずは下記フリーダイヤルまで
YOSHIKEI 0120-074433

安心 安全 信頼
をモットーに
アドバイザーが快適なカーライフをサポート致します。
詳しくはお問い合わせください。
各種保険のご相談・飯金見積り無料! 自動車修理・用品加工
株式会社 奈良中川自動車
☎ 0742-61-5388
〒630-8453 奈良県奈良市西九条町3丁目7-2 fax. 0742-61-1020
営業時間 9:30～18:30 定休日 第1・3・5日曜日、祝日
URL http://www.nara-nakagawa.com/

子どもも 大人も先生に!

～多世代交流、生まれています～

10月5日(土)西福祉センターで「あそび、ふれあい、つながり隊!」が開催されました。青和地区社会福祉協議会が主催となり、二名地域包括支援センターや放課後子ども教室とも連携し、地域を挙げての交流会となりました。



むかしの遊びもいまの遊びも

昔のあそび、今のあそび、そしてだれでも楽しめるポッチャ、それぞれ好きなことをして遊ぶ。世代を超えた地域全体での交流となりました。

ゲーム機を使ったeスポーツでは子どもたちから操作を教わり、ポッチャや昔あそびはお年寄りから教わるという、大人から子どもに教えるのみならず、子どもから大人へ教えるといった場面もありました。



お互いがお互いを尊重する、 双方向のやり取り

今回の多世代交流において、どちらかが教えるという役割を固定するのではなく、お互いに得意な分野を教えあうという形となりました。参加者が教わる立場と教える立場の両方を経験することになり、学ぶ楽しさとやりがいを感じることができたのではないのでしょうか。

青和地区社会福祉協議会 高下会長より

当日は地域の皆さまに多数ご参加いただき、多世代交流が図れたと思います。今後も地域の多機関と連携をとりながら、青和地区が暮らしやすい地域になるよう、ふれあいの場・多世代交流を拡げていきます。

生活支援コーディネーターより

参加された皆さんの心からの笑顔が印象的でした。自然と挨拶を交わせるような素敵な関係が、今日をきっかけに築かれたように感じます。このような機会を積み重ね、地域のつながりの輪を一緒に拡げていきましょう!

奈良市西福祉センターより

福祉センターは、地域住民のふれあいの場づくりと高齢者の活躍の場の創出を考えており、地域に必要な場として、さまざまな人と協力しながら一緒に進めたいと思っています。

〈西部・伏見エリア〉

鳥見ふらっと

TEL 0742-93-3741

西福祉センター

TEL 0742-41-3151

〈北部・中西部エリア〉

北福祉センター

TEL 0742-71-3501

福祉車両のレンタカー お気軽にご用命ください

軽自動車 ¥4,400/1日
普通車 ¥9,900/1日
営業時間 9時～19時

主催者
日本福祉車両未来研究会
Japan welfare car future meeting club
http://www.294mirai.com/

カラジモリ

奈良市北之庄西町1丁目11-3TEL: 0742-61-5662(すずき)



ケアハウス 入居者募集中
低額な費用で入居できる有料老人ホームです。

昭和7年(1932年)創設以来82年間
和顔愛語の福祉の心で運営

社会福祉法人 奈良市和楽園

〒630-8424 奈良市古市町1-28-3番地の1
TEL.0742188-5500 併: FAX(0742)23-6961

http://www.warakuen.or.jp

奈良市和楽園

旗・幕・カップ・バッジ

株式会社 野崎商店

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760
E-mail: hata@nozaki.net

HP 野崎旗 で検索!

「ありがとう」が原動力 都祁福祉車両運行会が運ぶ笑顔と安心

笑顔 を 運ぶ 地域 の 力 として



都祁福祉有償運行会
代表: 中村 房一さん
Fusakazu Nakamura

奈良市東部の都祁^{つげ}地区は、緑豊かな山間部に位置しながらも、公共交通機関が限られているため、高齢者や障がいのある方々の移動が困難な地域です。そうした中、「高齢になっても安心して暮らし続けたい」という住民の思いを具体化しようと平成15年に立ち上げられたのが都祁福祉車両運行会です。このボランティア事業では、奈良市社会福祉協議会が実施する福祉車両運行事業（福祉有償運送）に協力し、通院や日常の外出をサポートしています。

現代表の中村さんは、「地域の方々から『助かっています』と言われると、この活動を続けてきてよかったと感じます。自分もいつかはサポートが必要になるかもしれないので、今はお互い

さまのつもりで活動しています」と、笑顔で語ってくださいました。都祁地区は坂道が多く、バス停までの距離も長いので、外出が難しい住民にとって福祉車両は貴重な移動手段です。

一方、運転手の高齢化や仕事を持っていて時間が限定されるなどボランティアの確保が課題となっています。それでもボランティアさんたちはできる限り柔軟に対応し、利用者が安心して外出できるよう努められています。今後は、介護タクシーやコミュニティバスなどと役割を分担し、地域全体で助け合える環境づくりをめざされています。

今回ご紹介しております福祉有償運送事業の利用につきましては、原則都祁地区の住民の方が対象です。



発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
発行責任者：事務局長 稲葉 美和
〒630-8454 奈良市杏町79番地の4
TEL：0742-93-3100 FAX：0742-61-0330
E-mail：hureai@narashi-shakyo.com
URL：https://www.narashi-shakyo.com



奈良市社協 検索

「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」パラリンピックの“父”と呼ばれる医師が残した言葉です。車いすバスケットボール女子日本代表の西村選手に取材させていただき、西村選手の力強い言葉に感銘を受け、みんながもっと自分を出していける社会であってほしいと思いました。スポーツ大会を通して共生社会の実現をめざす第一歩になりますように。(編集委員H)

編集
後記

住み慣れた地域で
必要な介護サービスが選べる

- 一般型デイサービス
- 認知症対応型デイサービス
- 小規模多機能型サービス
- グループホーム
- 介護相談センター

ご相談 多機能複合型介護施設 ミック登美ヶ丘
見学随時 奈良市押熊町 2261 (ならやま大通り ユニクロ駐車場南)
☎ 0742-40-2350 mic-tomigaoka.com

令和6年度
賛助会員のご紹介
※10月末日現在

- 株式会社 カームネスマイル
- 合資会社 佐保・福祉総合相談センター
- シンレキ工業 株式会社 関西事業所
- 戸尾建築設計事務所
- 奈良豊澤酒造 株式会社
- 南都銀行 本店
- 株式会社 堀川工務店
- 遊食彩 KONISHI
- グループホームどんぐり
- 株式会社 しあわせ家
- 大和証券 株式会社 奈良支店
- 株式会社 奈良事務機
- 奈良ヤクルト販売 株式会社
- 野村証券 株式会社
- 正木商事 株式会社

ご協力ありがとうございます